

山梨県立 峡南地域新設高等学校 (仮称)



所在地 〒409-3601

西八代郡市川三郷町市川大門 1733-2

電話 055-223-1767 (高校改革・特別支援教育課)

FAX 055-223-1768 (同上)

URL <http://www.newprefhs.kai.ed.jp/>

E-mail koukai-tokushi@pref.yamanashi.lg.jp

創立 令和2年(2020年)4月1日

課程 全日制

利用交通機関 JR身延線市川本町駅より徒歩10分

教員数 35名程度(開校初年度予定)

開校年度募集人員 280名程度(予定:正式決定は11月)

学科名	普通科	工業科	商業科	計
募集	140	60	80	280

<単位制・総合制を活かした教育>

本校はJR身延線市川本町駅から徒歩10分、現市川高等学校の隣接地に、令和2年4月に開校します。普通科と工業科、商業科を併設した総合制高校です。大学や短大等への進学や公務員や企業等への就職等様々な進路目標を持つ多様な生徒が集まる学校です。単位制による小人数授業と充実した選択科目に加え、快適で明るく開放的な真新しい校舎や令和3年新築予定の体育館、県内屈指の広い校庭など恵まれた環境を用意し、勉強と部活動の両立を目指して、積極的に学校生活を送ってほしいと思っています。

これからの社会では複雑で答えのない課題に、多様な他者と協働して取り組み、解決していく力が求められます。例えば1年次では、総合的な探究の時間や学校設定科目において、学科を横断したグループ編成で、課題を設定して解決を目指す探究活動を計画しています。

複数あるPC室など充実したICT環境を授業や生徒の研究・発表に活用します。さらに、民間の学習支援システムを使って学習・生活の記録や振り返りをポートフォリオとして蓄積し、必要に応じて確認しながら学びを深めるとともに、志願理由書の作成など新しい大学入試にも活かしていきます。

(市川高校授業風景)



<学科・クラス編成>

◎普通科(4クラス)

◇1年次は基礎学力向上が重点目標で、全員共通の科目を学習します。学習効率を高めるため、習熟度別の学級編成を行う予定です。

◇2年次以降は進学から就職までの幅広い進路希望に対応したG類型、国公私立の4年制大学をめざすLS類型、英語教育を重視しつつ難関大学を目指す英語類型に分かれます。LS・英語類型では文系・理系という旧来の考え方を廃し、原則的に英数国を同じ単位数で配置して切磋琢磨します。

◇3年次には、工業・商業を含めた多種多様な選択科目を用意し、進路目標に合わせたより具体的な学びが可能となります。

◇単位制の利点を活かし、各年次でパート分けによる習熟度別や小人数での授業を充実させます。

◇進学指導を充実させつつ部活動も奨励し、生徒の全人的な発達を目標とします。

【英語類型の特色】

◇英語科のノウハウを継承し、国際的な視野の育成と実践的な英語力の養成を図りつつ、文系理系を問わず難関国公立・私立大学への進学を目指します。

◇全員英検2級合格を目指すとともに、GTEC等の検定試験対応も充実させ、新大学入試にもいち早く対応していきます。

◇英語コミュニケーション力の向上を目指し、英語ワークショップや先輩の体験談を聞く会等の行事の他、ALTによる個人指導も充実させます。

◇発信型の英語力を培うため、東京ディズニーランドを訪問し、英語で取材して英語のDVDや旅行記を作成する「ONLY ENGLISH IN TDL」も英語類型の行事として行う予定です。

◎工業科（機械系・土木系 各1クラス）

- ◇1年次は工業を学習する上で必要な基礎的な科目を全員共通で履修します。工業技術基礎では前期に機械系・土木系それぞれの実習内容を体験します。それを踏まえ、後期には機械系・土木系学科を選択し、より深い内容を学習します。
- ◇2年次からは、機械系では機械設計や製図、土木系では測量や構造設計などそれぞれ専門的な内容を学習し、未来のプロフェッショナルを目指します。工業デザインやドローンなどの先端技術を学ぶ機会も設ける予定です。
- ◇3年次には専門科目に加え、普通科や商業科で開設される科目を選択可能です。例えば工業系大学や専門学校進学希望者が、普通科の数学の授業を受講することも考えられます。

◎商業科（商業系・情報系 各1クラス）

- ◇1年次は商業を学習する上で必要な基礎的な科目を全員共通で履修します。簿記や情報処理の授業では基礎から丁寧に学習し、簿記検定2級・情報処理検定2級の全員取得を目指します。
- ◇2年次からは2学科に分かれます。商業系ではマーケティングや商品開発などを通じ、将来の起業家となり得る人材の育成を目指します。また、情報系ではプログラミングや情報ネットワークの知識を活用して、高度情報化社会で活躍できるビジネス人材の育成を目指します。
- ◇3年次には専門科目に加え、普通科や工業科の開設科目を選択可能です。例えば外資系への就職を目指して進学を希望する生徒が、普通科の英語の授業を受講することも考えられます。

<部活動への対応>

本校は「文武一道」を合い言葉に、勉強と部活動の両方に主体的に取り組むことを目標としています。生徒数は県下最大となる予定ですから、充実した部活動が可能です。開校1年目については、原則的には新しい校舎に同居する市川高校の2、3年生と合同で部活動を行います。県高校総体、県芸術文化祭、双方で好成績を収められるよう切磋琢磨していきましょう。

学校として、野球・バスケットボール(男)・バレーボール(女：増徳商業と合同)・音楽部を重点強化部と位置づけ、活性化を図っていきます。その他令和2年度は、体育局では、陸上・バスケットボール(女)・サッカー(男)・ソフトテニス・バドミントン・硬式テニス・弓道・空手道・応援を設置予定です。また、文化局には書道・美術・茶道・華道・吹奏楽・写真・ユネスコ・ESS・家庭に加え、工業・商業の資格取得を目指す部も設置する予定です。

<地域との交流>

新設の校舎は、自然に交流が生まれるオープンな図書館を中核とする空間「アカデミック・スクエア」を中央に配した、明るく開放的な施設になります。そこには、地域の防災拠点としての機能を担う狙いもあります。学校設定科目「峡南地域学」では、「防災・減災」と「地域の課題発見・解決」を2本柱として、探究的な活動を進めていきます。本校は「生み出すつながり、創り出すあした」をスローガンに、地域との交流やボランティア活動を重視し、「利他の心」を育てることを教育の柱としています。障害を持つ人との交流、手話通訳体験、幼稚園や介護福祉施設の訪問等、自分の知識や能力を他者のために活かす事を通して、喜びや生きがいを見出しながら、多くの人々との出会いやふれあいを楽しんでいきます。

<進路目標達成への支援>

生徒それぞれの進路目標達成を支援するため、本校教師による課外や学習会等が、定期試験前や長期休業中に実施されます。工業・商業関連の資格取得や検定試験に向けた特別講座も用意されます。

本校の大きな特長は、普通科・工業科・商業科それぞれの専門性の高い教員が多数いることです。例えば、大学の推薦入試は、志望理由書や面接、プレゼンテーションを重視する方向に向かっています。多分野の専門家がいた学校は、課題研究等の探究活動や、進路目標に合わせた具体的な個別指導に強い学校でもあります。特に1期生には、就職指導を含め早い時期から「全員指導体制」で進路実現を応援していきます。

新設高校の進路指導は、全ての学科の生徒を対象に、進学指導では市川高校のノウハウを、就職指導では峡南高校・増徳商業高校のノウハウ（H30年度就職内定率100%を達成）を継承・深化して、生徒の多様なニーズに応じていきます。

平成30年度の進路状況については、普通科は市川高校、工業科は峡南高校、商業科は増徳商業高校のスクールガイドを参考にしてください。

(峡南高校・増徳商業高校授業風景)

